

Cisco **Security**

Secure the Hybrid World: ネットワークの「境界」を再定義

シスコの次世代インテリジェント防御 (Hybrid Mesh Firewall)

2026年6月24日

シスコシステムズ合同会社 セキュリティ事業

林田 徳一

はじめに

Interop[®]26

Tokyo JUNE 10-12
MAKUHARI MESSE, JAPAN



3日間延べ143,000人超



“Best of Show Award” グランプリ
セキュリティ(For AI)部門
DefenseClaw



“Best of Show Award” 審査員特別賞
セキュリティ(エンタープライズ)部門
Cisco Secure Firewall 200 シリーズ
セキュリティ(エンタープライズ)部門
Cisco Duo: Duo Active Directory Defense



そもそも、Hybrid Mesh Firewallって なんでしょう？

Hybrid Mesh Firewallとは、データセンター、クラウド、エッジ、リモートワークなど、あらゆる場所に分散したセキュリティ機能を単一の管理プレーンから一元管理し、一貫したポリシーを適用する次世代の統合セキュリティプラットフォームです。

Hybrid Mesh Firewall登場の背景

ITインフラの極端な分散化

企業ネットワークがオンプレミスのデータセンターに集中していた時代から、複数のパブリッククラウド、支社（エッジ）、リモートワーカーへと急速に拡大した

運用の複雑化と「ポリシーの隙間」の出現

環境毎に異なるベンダやプラットフォーム（物理、仮想、クラウドネイティブ、SaaS型）のFirewallを個別運用することで、設定ミスやセキュリティポリシーの不整合（隙間）が生まれ易くなり、セキュリティリスクが増大した

旧来型の境界防御の限界

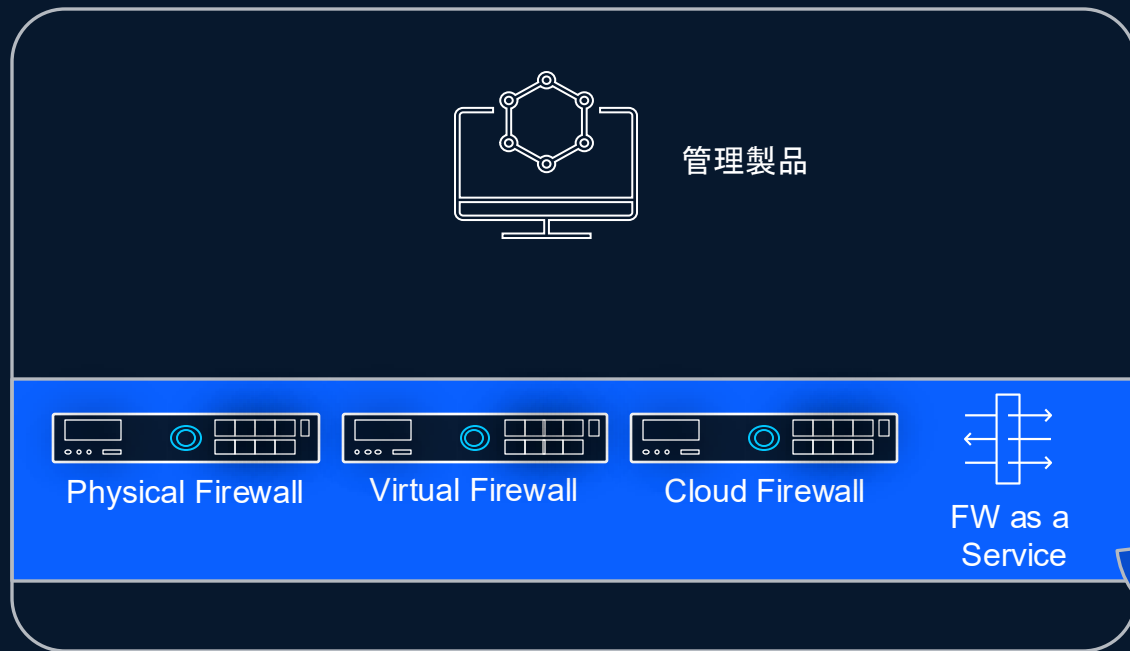
旧来の「社内と社外の境界を守る」というアプローチでは、クラウドやエッジを行き来する最新の高度な脅威や、内部でのラテラルムーブメント（横展開）を防ぐ事が難しい

Gartner社などの市場定義や主要ベンダー各社の仕様において、以下の3要素を全て満たすものが「Hybrid Mesh Firewall」と言われるようになった。

- ①多様な展開オプション
物理アプライアンス、仮想VM、コンテナ、クラウド、およびFWaaSを網羅していること
- ②一元化された管理機能
環境を問わず一つの画面から可視化と制御が実行できること
- ③ポリシーの一貫性
ワークロードやIDベースの防御（ゼロトラスト）をどこでも同様に実行できること

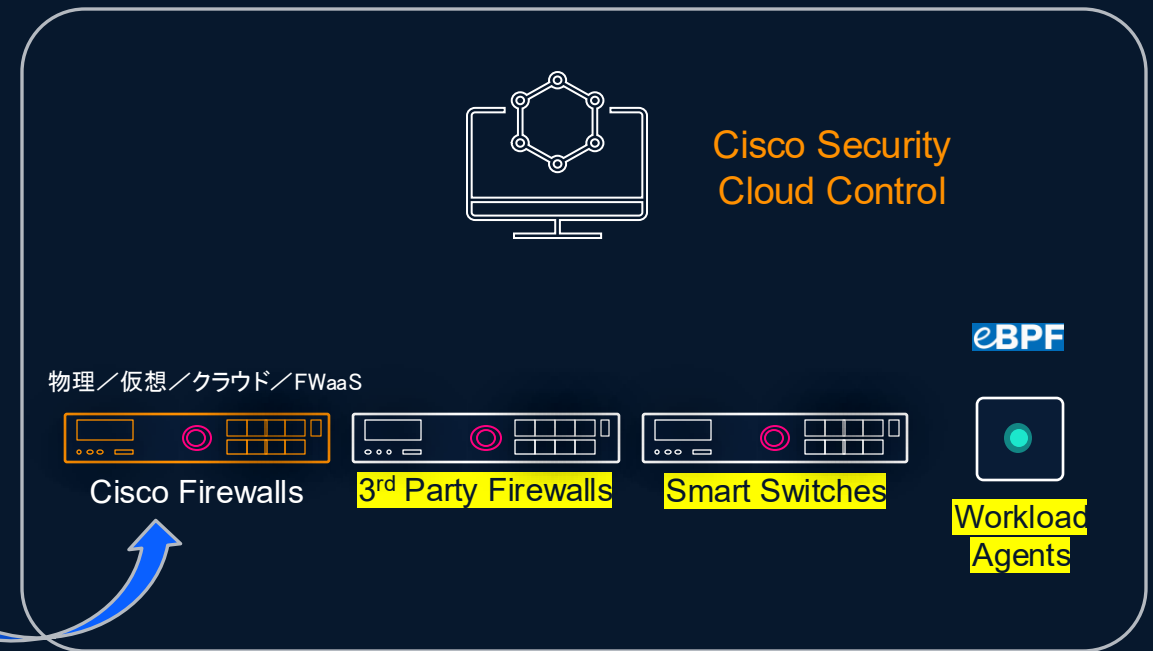
CiscoのHybrid Mesh Firewallの特徴

<一般的なHybrid Mesh Firewall>



1つのものとして管理(統合管理)

<Cisco Hybrid Mesh Firewall>

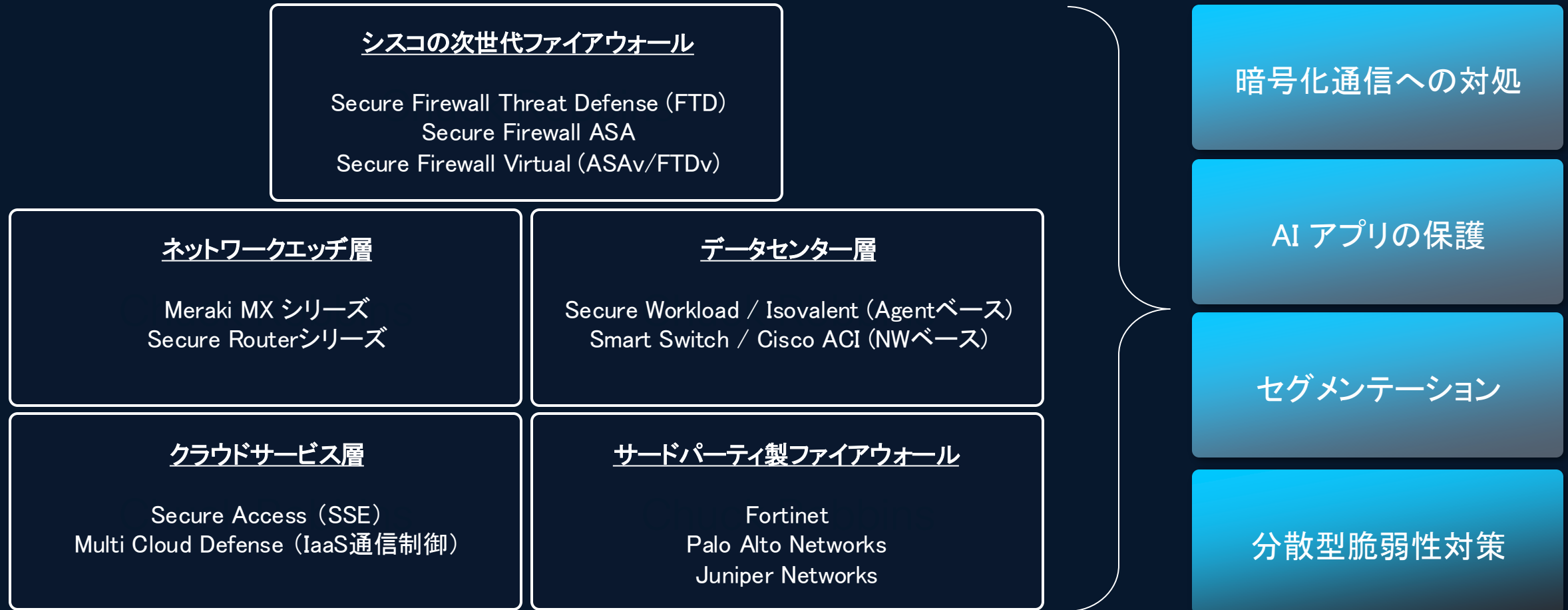


1つを護れば全てに適用(連鎖型/自律型管理)

Cisco Hybrid Mesh Firewallのセンサーとなる製品群



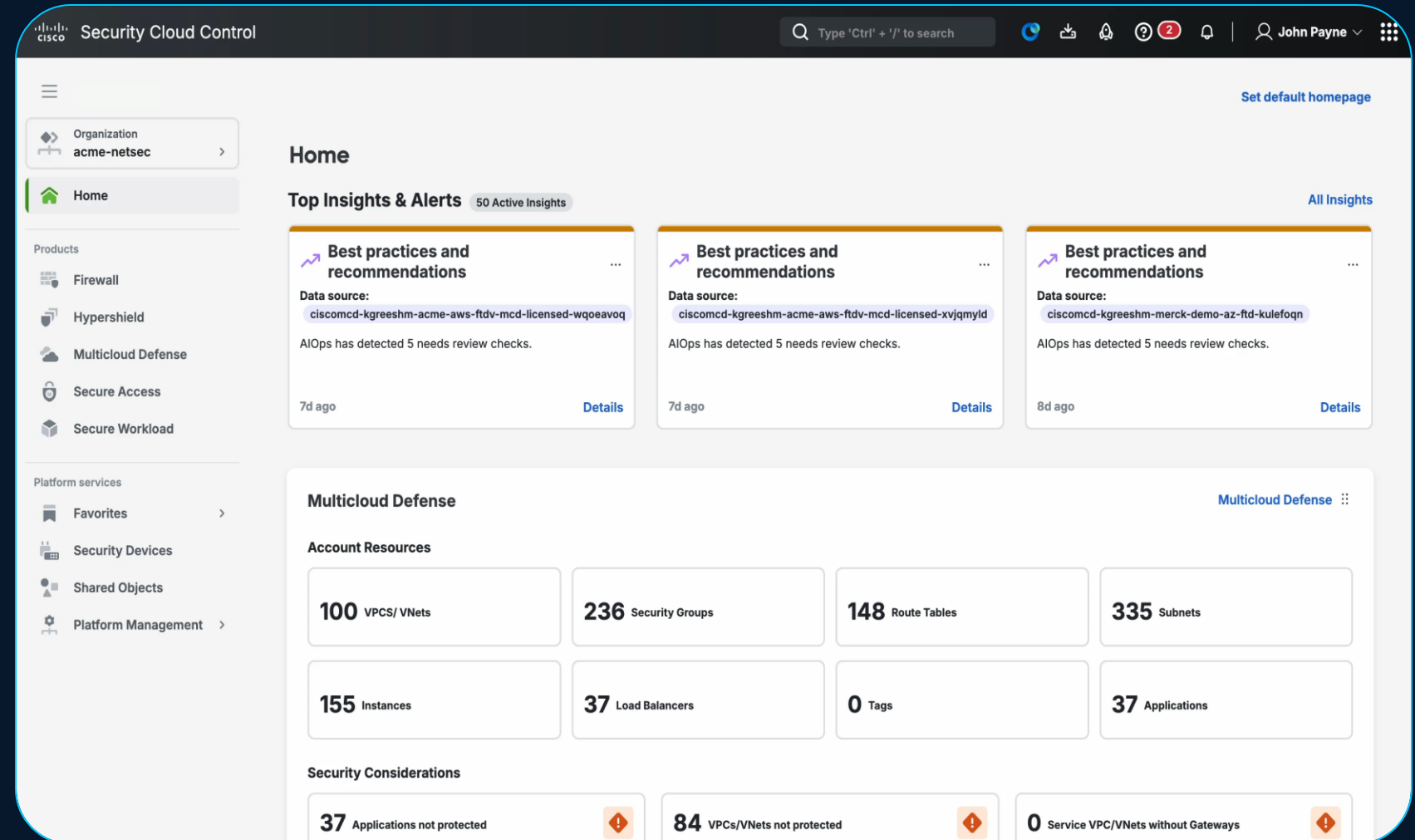
「OSの一元化」等の統合面を軸にする他社と違い、「ネットワーク全体を一つの巨大なFWに変える」というアプローチ



Security Cloud Controlによる一元管理



- ・ポリシーを一度定義すれば、どこにでも適用可能
- ・AIを活用したベストプラクティス
- ・ソリューション全体を一元的に可視化
- ・一貫したユーザ体験



連鎖型/自律型管理の要となる“Mesh Policy Engine”



”意図”ベースのポリシーをマルチベンダーの Firewall に適用

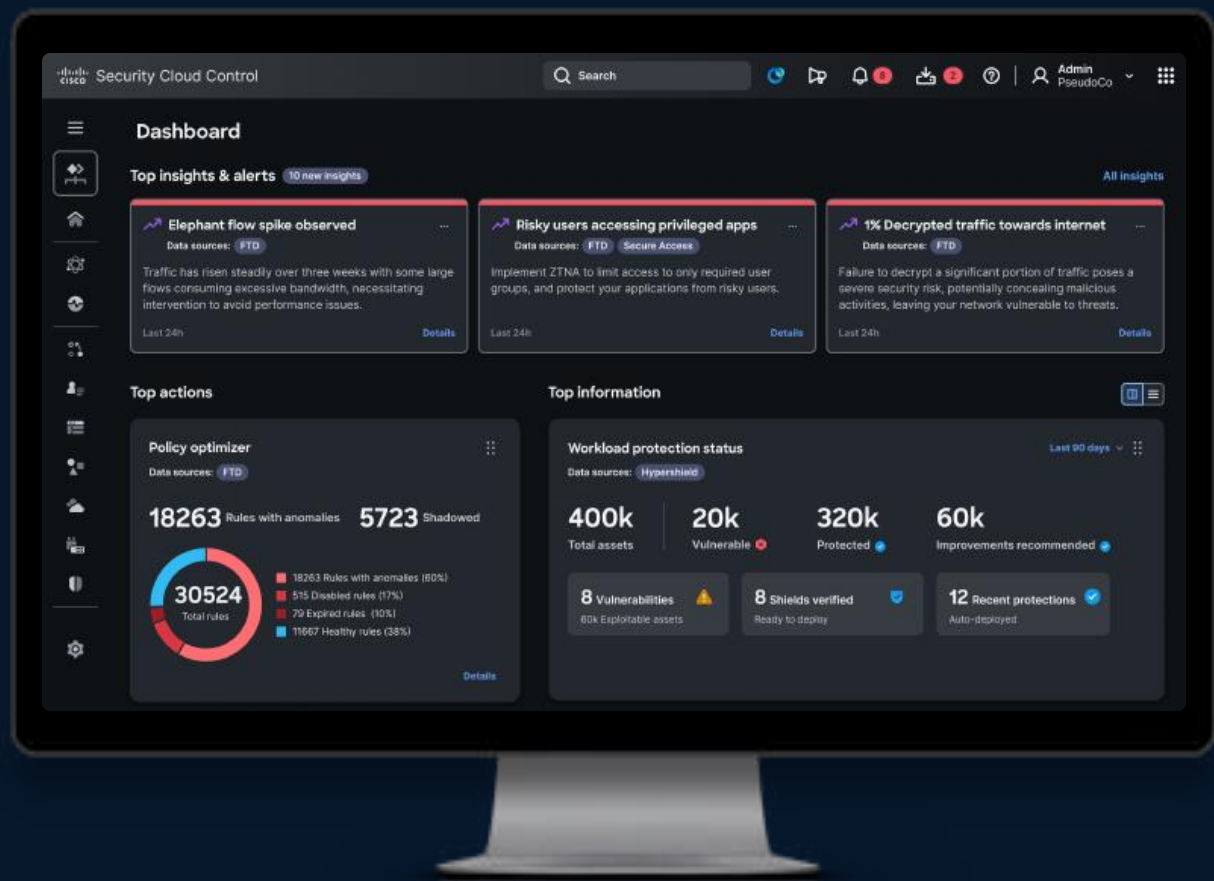


ルールの最適化

ポリシーを各ポイント
に適用

マルチベンダーのFW
L3-L4 ポリシーを適用

単一の画面からエンドツーエンドの可視性を実現



包括的なインサイトにアクセス

すべてのファイアウォールとセキュリティの導入環境に関するインサイトを取得



問題を迅速に解決

ネットワークトラフィックとセキュリティイベントのライブビューにより可能

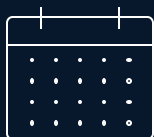


情報に基づく意思決定を支援

ネットワークデータから実用的なインサイトを得ることで実現

クラウド/SaaS 型管理の利点

- デバイス API で TLS v1.3 を使用してデバイスに接続
- 設定は保存時も転送中も暗号化
- 役割別のアクセス制御と SAMLベースの二要素認証によって管理アクセスを保護
- マルチテナント管理が可能: クライアントを完全に分離
- 拡張性/柔軟性
- メンテナンス不要
- 迅速な機能提供
- 先行コストの抑制
- 新しい要件にすぐに対応可能



1 日以内で
プロビジョニング



成長に合わせた
サブスクリプション方式の
支払いモデル



安価なメンテナンスコスト

99.99%

SLA で定めた
稼働時間

Cisco Secure Firewall ハードウェアプラットフォーム



全てのアプライアンスでASA SW、FTD SWのどちらも稼働可能



200 Series
1.5 Gbps



1200 Series Compact
6-9 Gbps



1200 Series
9-18 Gbps



3100 Series
10-45 Gbps
up to 0.57Tbps in 16x cluster



4200 Series
65-145 Gbps
up to 1.79Tbps in 16x cluster



6100 Series
150-400 Gbps
up to 5Tbps in 16x cluster



ISA 3000
<0.7 Gbps



1010
<1 Gbps



11xx
2-5 Gbps



21xx
2.5-10 Gbps

EoS
May 2025



41xx
19-53 Gbps

EoS
Jan 2026



93xx
55-68 Gbps

EoS
Mar 2026



OT/IoT



Branch / SASE



Campus / Enterprise / Data Center / SP



Cisco Secure Firewall バージュアルプラットフォーム



全てのアプライアンスでASA SW、FTD SWのどちらも稼働可能

Private Cloud



Public Cloud



Gov/IC Cloud



100Mbpsから最大16Gbpsまでの仮想ファイアウォールパフォーマンスベースのライセンス

Cloud Leadership

Clustering & Auto Scaling

Integration with cloud native
services & infrastructure

Accelerated Networking

Smart & Tiered Licensing

Dynamic Policy

Quickstarts, Infrastructure as
Code and Automation

Gateway Load balancer
integration

Snapshots

魅力あるCisco Secure Firewallの機能 4選



業界初

暗号可視化
エンジン **EVE**

HTTPSやQUICを復号せず分析や脅威遮断



Opex削減

運用負荷 半減！？
AIアシスタント

長期末使用ACLや重複ACLの削除や、設定・運用支援など



AI & ML

ゼロデイ攻撃から保護
SnortML

シグネチャに頼らず、ゼロデイ攻撃から保護



業界標準

リモートアクセス終端
1. AnyConnect
2. Clientless

より安全で快適な在宅勤務

この後のプログラム

14:00–14:20

Secure the Hybrid World: ネットワークの定義、シスコの次世代インテリジェント防御
セキュリティ事業 林田 徳一



14:20–14:40

狙われる認証基盤をどう守るか？ 認証基盤への攻撃リスクを最小化する次世代のアイデンティティ保護
セキュリティ事業 Cisco Duo Sales Lead 平岡 龍弘

14:40–15:00

自律型AIエージェントを制御する、次世代のインテリジェント・セキュリティ
セキュリティ事業 三澤 慶浩

プログラムの最後までご視聴の程、よろしくお願い申し上げます！

